

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:初期環境調査
 調査媒体:水質(ng/L)
 地方公共団体:川崎市
 調査地点:川崎港京浜運河扇町地先

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[4] アモキシシリン	1.1	0.013	0.013
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名:ピリドスチグミン)	0.83	0.043	0.043
[8] (4-[[4-(ジメチルアミノ)フェニル]フェニル]メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)(ジメチル)アンモニウム=クロリド (別名:マラカイトグリーン塩酸塩)	nd	0.028	0.028
[16] バルプロ酸	nd	1.7	3.1
[19] 3-ベンジリデンカンファー	nd	7.4	23
[22] レボフロキサシン	9.8	0.44	0.44

(注1)「nd」は不検出を意味する。